

ベトナム株式市場の格上げが正式に決定



《FTSE ラッセルがベトナム株式市場の格上げを正式に決定》

10 月 7 日午後（ロンドン時間）、FTSE ラッセルは、ベトナム株式市場のカテゴリーをフロンティア市場から新興市場セカンダリーへ格上げすることを決定した。報道ベースではかなり確度が高まっていることが伝えられてはいたが、予想通りの結果となった。声明では、これまでのベトナム証券市場当局の格上げに向けた取り組みが高く評価され、格上げが決定されたとしている。

正式な組み入れは 2026 年 9 月 21 日となった。2026 年 3 月にも組み入れられるのではという予想に比べて半年近く遅れることとなっている。この「遅れ」は格上げに「条件」が付いたためだ。その「条件」とは、大手外資系証券会社（グローバルブローカー）を通じたベトナム株式市場へのアクセスの改善である。世界的なインデックスファンドが、一元的なサービスを提供するグローバルブローカーを通じた売買を希望するケースが想定され、インデックスファンドが現地に口座を開かなくても、グローバルブローカーの口座から直接ベトナム株式市場にアクセスができるようにすることが求められているようである。アクセスが改善されれば、ベトナム株式市場への資金流入規模の増大も期待でき、ベトナム側にもメリットがあるため、それほど高いハードルではないようだ。なお、2026 年 3 月に、この「条件」について中間レビューが行われることとなっている。

《外国人投資家の資金流入期待》

格上げに伴ってベトナム株式市場への資金流入が期待できる。インデックス運用の資産配分変更に伴うものだけではなく、アクティブファンドや世界の資産家からの資金流入が見込める。それらがどの程度の規模になるかは定かではないが、ベトナムが世界の分断を克服して世界トップクラスの経済成長を続けていること、それに伴う企業業績の拡大、バフエット指数でみた割安感（弊社 8 月 26 日付レポート「バフエット指数でみたベトナム株式市場」参照）などを考慮すると、一定の上昇余地は残っているとみられる。また、図表 1 にみられるように、外国人投資家は、5 月から 7 月にかけて一時的にベトナム株を買い越したが、その後の上昇で売り越しに転じている。「格上げ」については、「噂」で買って「事実」で売るというアクションだったようだ。しかし、外国人投資家の短期的な売りが一巡すれば、ベトナム経済のファンダメンタルズに関心を持つ投資資金が、「格上げ」を契機にベトナム株式市場に入ってくる可能性がある。VN 指数は高値水準にあるが、実のところは、ファンダメンタルズだけでなく、需給関係も良好と考えられることも可能だろう。

図表1 外国人売買動向とVN指数の推移



出所 各種資料をもとに当社作成、データは10月3日まで

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20251009

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。